

信頼～みんなで築く絆、あふれる笑顔～ … 第76回体育大会

9月11日(日)に、御来賓、保護者、御家族の方々が見守られる中、第76回大原中学校体育大会を開催することができました。さわやかな秋晴れのもと、大きな怪我もなく終えられたことがまずは何よりでした。3人のブロック長による堂々とした選手宣誓で体育大会の幕が切れて落とされ、赤、青、黄の三(み)つ巴(どもえ)の熱い戦いが繰り広げられました。

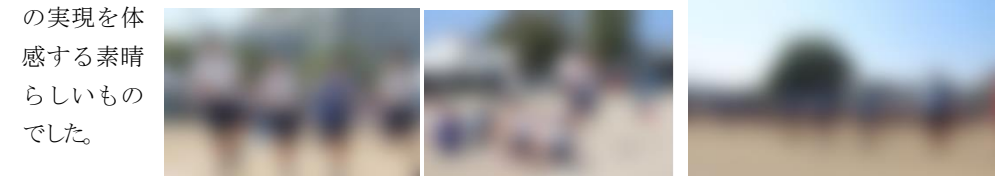
宣誓！私達選手一同は、短い練習時間でも、みんなを信頼し、協力して一生懸命に練習してきました。時には意見が衝突して悩みながらも、みんなで支え合い、今日の日のを迎えることができました。そして、今年はいよいよ集団創作演舞を3学年で踊ることができました。体育大会をできることに感謝し、3ブロック全員が一致団結して、これまでにない感動的な体育大会にすることを誓います。
 令和4年9月11日

赤ブロック長
 青ブロック長
 黄色ブロック長

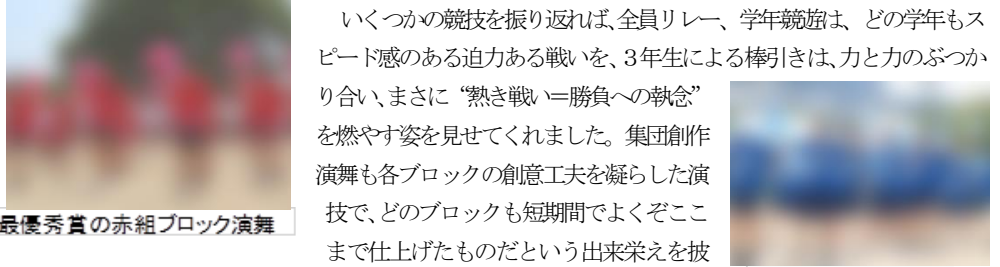
体育大会総合成績結果	
優勝	黄ブロック
集団創作演舞結果	
最優秀賞	赤ブロック

また、特に後半の集中力と追い込みは見事で、こうして立派にやり遂げてくれました。心から感謝したいと思います。本年度は、黄ブロックが見事「総合優勝」を果たし、赤ブロックが「集団創作演舞最優秀賞」に輝きました。それぞれ優勝カップを授与し、その健闘を讃えています。

こうして、点数をつけて勝敗を競う以上、いろいろな種目の成績の積み上げ、そのトータルとしての順位はつきましたが、皆さんが頑張った姿、取組の姿勢、努力そのものは、どのブロックもとても素晴らしいものでしたし、青春の大切な思い出となることでしょう。各ブロックのかけ声高らかに統率のとれた演舞は今年も健在でした。先輩から後輩へと受け継がれてきた競技や演舞、パラパラ袋鉾などは見事で、今年も御来賓や保護者の方から賞賛の声が聞かれました。今や大原中の立派な伝統として根付いてきたことを実感します。体育大会全体を通して、スローガン「信頼～みんなで築く絆 あふれる笑顔～」



の実現を体感する素晴らしいものでした。



最優秀賞の赤組ブロック演舞

いくつかの競技を振り返れば、全員リレー、学年競走は、どの学年もスピード感のある迫力ある戦いを、3年生による棒引きは、力と力のぶつかり合い、まさに「熱き戦い＝勝負への執念」を燃やす姿を見せてくれました。集団創作演舞も各ブロックの創意工夫を凝らした演技で、どのブロックも短期間でよくぞここまで仕上げたものだという出来栄を披露してくれました。毎年集団創作演舞に懸ける各ブロックの思いは熱く、心中期するものがあつたと思いますが、一体感や連動性、場面転換、隊形の工夫などの印象による僅かな差によって順位があつたということでしょう。いずれにしる、ブロックの1年から3年まで、心一つに一所懸命にがんばつたこと、そして、何よりみんなが飛び切りの笑顔で楽しめたことを、ぜひ胸に留めてもらいたいと思います。この体育大会で弾(はず)みをつけたその先、学校を挙(あ)げて「実りの秋、文化の秋」という言葉に相応(ふさわ)しい2学期になるであろうことを確言します。経験を糧(かて)にどんどん成長していく皆さんに大いに期待します。

青組ブロック演舞



黄組ブロック演舞

**「皆さんお疲れ様でした！」
 「今、体育大会を終えて…」
 実行委員長からみんなへ**



体育大会実行委員長 ()
 「みんなで築く絆、あふれる笑顔～」の体現。
 …今年も例年通り出来るかも知れないままスタートした、リーダー研修会。スローガンでは全学年で集団創作演舞を踊ることを目指し、「みんな」という言葉を、そしてコロナ禍で最高の思い出を作り、「笑顔」で終わるよかと、掲げました。その中で普段開けられない他学年との交流がブロック練習などで見られ、縦とのつながりや回帰力が見られたことがとても嬉しいです。特にクラス、同学年の生徒と「ほろぼろ」を放課後まで練習を作り、ダンスではお互い高めあえたことが、「みんなで築く絆」を達成できたと思います。
 自分この3年間で一番濃く学びを得た時間となりました。この体育大会が終着点ではなくこれからある文化祭大会に向けて、気合いを入直したいと思ひます。ありがとうございました！！

体育大会実行委員長 ()
 体育大会をこんなにも最高のものにしてくれて、ありがとうございました。
 今年も3年生にとって初となる学年競走や集団創作演舞があり、ブロック長をはじめリーダーたちもとても大変だったと思います。しかし、弱音一つ吐かずみんな協力して、本当に凄いなと思いました。練習時間ではなかなか体育大会を成功させることができなかったのは、みんなが体育大会をより良いものにしたかったと思ひ、協力してくれたからだと思います。
 自分たち実行委員長を最後まで信じてついてきてくれて、本当にありがとうございました。